

葉山災害ボランティアネットワーク

HSVN

2022 年度総会 議案書

日時 2022 年 6 月 5 日(日)午後 1 時 30 分より

場所 葉山町立図書館ホール

◇総会議案

第 1 号議案 2021 年度活動報告及び
同収支会計報告並びに会計監査報告

第 2 号議案 2022 年度活動計画 (案)

第 3 号議案 2022 年度予算 (案)

第 4 号議案 役員選出

以上

【第1号議案】2021年度活動報告及び同収支報告、並びに会計監査報告

2021年度活動報告

新型コロナウイルス感染症の拡大は2021年度も収束には至らず、自然災害の局面とは違った『新たな災害』となって各面で行動の自粛や催しの中止、延期などの社会不安をもたらしました。当会においても、事業計画の多くが中止や延期を余儀なくされましたが、一方で計画を新型コロナウイルス感染症対応活動に切り替え、一連の活動をリモート開催などで行い、なんとか活動を止めないように工夫を続けた一年間でした。

2021年7月の豪雨で、熱海市伊豆山では大規模な土砂災害が発生し多数の人命が奪われ、また当町堀内地区の三ヶ岡西斜面では土砂災害が発生しました。

感染拡大の状況下であっても、自然災害は時と所を選ばず発生します。私たちは、災害への備えを常に検討しておかなければならないと、改めて強く感じたところであります。

以下、活動の基本重点事項に照らし、活動の状況を報告します。

なお本議案書では災害ボランティアセンターを“災害VC”と表記します)

〈2021年度事業計画 基本重点事項〉

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。
2. 災害VCの仕組みづくりを推進する。
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る。
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める。
5. 被災地支援活動を継続して行う。
6. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる。

〈2021年度活動内容〉

1. 「会員のスキルアップ、ボランティアコーディネーター育成」

- ① 「葉山災害ボランティアセンター感染症対策ガイドライン」を2021年3月版として発行。
- ② ガイドラインに沿った設置・運営訓練は、新型コロナウイルス感染拡大が深刻化(以下コロナ禍という)に配慮し中止。
- ③ 「葉山まちあるき」:コロナ禍に配慮し中止。
- ④ 「語り場」(12月11日元町会館、13名参加)
 - ・テーマ:「震災を忘れない あの時あなたはどこでなにを？」
- ⑤ 「新・土砂災害ハザードマップ勉強会」(1月29日オンラインで開催、46名参加)
 - ・講師:矢部満氏(堀内在住技術士)
 - ・今後も防災情報の提供を求めたいとする方が多くいた。またアンケートには約8割が必要時には協力したいと答えている。
- ⑥ ICT学習・活用ワークショップ(詳細は巻末〈表〉参照)
 - ・かながわ災害情報連絡会「オンラインICT講座」等各種訓練。(26回開催、延べ62名参加)

2. 「災害VCの仕組みづくり推進」

- ① 災害VC設置運営マニュアル・様式の改定。
 - ・「災害VC感染症対策ガイドライン」に沿ってマニュアル・様式を改定した。
 - ・「災害VC感染症対策ガイドライン」の説明会(7月21日・社協会議室、7月25日元町会館)
- ② 「災害VC立上げまでの行動指針」の見直しは終了した。

- ③ ポータルサイト(<https://chiiki-bosai.jp/hp/hsvc>)の運営と充実。
・防災科研のサイト移行し、見直しを行った後、アクセス数 10,000 回以上に達した。
・葉山災害VC設置運営マニュアル改訂及びコロナ感染症対応ガイドライン作成に伴い、葉山災害VC(発災時サンプルサイト(<https://chiiki-bosai.jp/hp/hsvcd>))を改訂した。
- ④ 感染症対策のためリモート会議などの環境整備を行い、運営委員会、検討会、勉強会で利用した。

3. 「関係機関や地域の団体との連携を強化、認識の共有」

- ① 「災害VC連携会議」参加団体に “活動計画、今後の課題など” アンケート調査を社協で実施。(2022年3月15日)
- ② 「三浦半島地区地域災害ボランティアネットワーク交流会(葉山・逗子・横須賀・金沢区4地域交流会)」:コロナ禍のため中止。
・三浦市災ボラ「そなえるネットワークみうら」の立ち上げに協力、同団体の参加で三浦半島全域がネットワーク化された。
- ③ 町内災害ボランティア関係団体との交流:コロナ禍に配慮し中止。
- ④ ビッグレスキューかながわ(令和3年度神奈川県・葉山町総合防災訓練):コロナ禍で2022年度に延期。
- ⑤ 「九都県市合同防災訓練(横浜)」:コロナ禍で一般参加を取止め実施。
- ⑥ KSVN(神奈川県災害ボランティアネットワーク)理事に当会から吉田見岳副代表を派遣し、情報共有に努めた。

なお、吉田理事は、県内の地域ボランティア団体へ県ボランティア支援センターの仕組みの普及及びその訓練の実施、さらに、災害VCでのICT活用方法の普及を別に担っている。

4. 「広報活動」

- ① 浜銀バザー、まちづくり展などでの広報活動:コロナ禍に配慮し中止。
- ② 会員相互の親睦を図る懇親会(4月30日オンラインで開催、参加13名)
- ③ PRチームオンラインミーティング(9月14日)

5. 「被災地支援活動」

- ① 「復興応援屋台」被災地製品の販売・募金活動:コロナ禍に配慮し中止。
- ② 「100万人の線香花火ナイト」追悼行事
・森戸海岸での追悼行事はコロナ禍に配慮し中止し、個人各家庭で実施。(8月11日)
- ③ 「緊急支援活動準備金の積立と被災地復旧支援ボランティアの派遣」
・被災地からのボランティアの派遣要請は無かったが、支援準備金の積立は行った。

6. 防災教育の取組活動

- ① 「てんでんこ逗葉・KIDS防災ピクニック」(5月23日)
・葉山からは子ども3名、その他子ども6名、保護者1名計10名(スタッフ除く)が参加。
- ② 「KIDS防災ピクニック3rd(てんでんこ逗葉・金沢SVN共催)」(6月13日・玉蔵院)
・葉山からは子ども10名、その他子ども26名、保護者7名計43名(スタッフ除く)が参加。
- ③ 「てんでんこ逗葉・サイレント募金活動」(8月11日)
・募金は熱海の土石流被災者へ寄付。
- ④ 「てんでんこ逗葉・第2回おうちde防災」:(2022年1月15日オンラインで開催)
・子ども7名、スタッフ7名、HSVN1名、金沢SVN1名が参加。

7. 新型コロナウイルス感染症対応活動

- ① ガイドライン検討会(6月3日オンライン開催)
- ② グーグルフォーム検討会(6月8日、6月11日オンライン開催)
- ③ 「災害ボランティア応募処理(Gフォーム利用)」勉強会(7月15日、8月26日オンライン開催)
- ④ 「葉山災害VC感染症対策ガイドライン」説明会(7月21日社協会議室、7月25日元町会館)
- ⑤ 防災関連情報収集のためのサイト参照勉強会(8月19日)をオンライン開催、参加11名)
- ⑥ 「ツイッターアンケートを利用した災ボラ受付」訓練(11月19日)
- ⑦ KSVNその他が主催するコロナ対応オンライン講習会等に会員有志が受講。

8. その他の活動

- ① 2021年度HSVN総会:コロナ禍のため、書面決議にて開催(6月)。
 - ・2020年度決算、2021年度活動計画と予算、役員改選が提案どおり承認された。
- ② 月例運営委員会(12回)
 - ・コロナ禍のため社協会議室参加者とオンライン参加者を結ぶ二元中継で運営。
- ③ 社協との意見交換会。(2022年3月11日)
 - ・次年度総会にむけて、HSVNの10周年をどう迎えるか他を意見交換。
- ④ 情報発信の強化を目標に、PRチームがインスタグラムでの情報発信その他FBページでの投稿も活発化させている。

9. 組織状況報告

◇2021年度末 会員数 49名(うち正会員 38名、賛助会員 11名)

以上

2021年度会計監査報告

2022年5月14日	
会計監査報告書	
葉山災害ボランティアネットワーク	
代表 柿本秀二 殿	
会計監査	松元美恵 
会計監査	吉田健太郎 
葉山災害ボランティアネットワークの2021年度会計監査を下記の通り実施しましたので報告します。	
記	
監査実施日	2022年5月14日
監査書類	2021年度収支会計報告書および関係書類
監査結果	上記書類について、厳正な監査を行った結果、いずれも正確かつ適正に取り扱われていることを認めます。
以上	

2021年度収支報告

一般会計の部

2021年4月1日～2022年3月31日

科 目	2021年度 予算(¥)	2021年度 決算(¥)	摘 要
I 収入の部			
1) 会費	47,000	43,500	43名×1000+500(半期)
2) 助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費			
4) 寄付金	5,000	20,500	
5) 繰越金	27,801	27,801	前年度より繰越し
6) 預金利息		2	
収入合計	179,801	191,803	
II 支出の部			
1 事業費			
1) 訓練研修 準備・実施費	20,000	23,213	訓練・研修に係る諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	8,000	12,540	葉書、切手、郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費			
4) 訓練研修 参加・移動費		13,990	
5) 連携プロジェクト関係費	5,000		広域連携などに係る費用
6) 災害支援活動派遣関係費	10,000		現地調査など関連費用
7) 防災教育活動関係費	15,000		葉山防災ラボ関連費用
8) 広報PR活動関係費	2,000		広報活動に係る費用
9) 地域活動関係費	8,000		町内連携に係る費用
事業費計	68,000	49,743	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協
2) 保険料	2,000		イベント保険
管理費計	15,000	13,000	
3 事務費			
1) 会議費	25,000	32,750	総務関連会議費
2) 交通費	2,000		総務関連交通費
3) 通信費	8,000		総務関連通信費
4) 消耗品費	3,000		総務関連消耗費
5) 機材購入費	20,000		総務関連機材費
6) 雑費	3,000	2,136	総務関連雑費
事務費計	61,000	34,886	
4 緊急支援活動準備金積立て	20,000	40,000	
繰越し抜き支出合計	164,000	137,629	
5 繰越金	15,801	54,174	
支出合計	179,801	191,803	

緊急支援活動準備金積立ての部

I 収入の部			
1) 一般会計より積立て	20,000	40,000	2021年度一般会計より繰入
2) 繰越金	220,000	220,000	前年度繰越金
収入合計	240,000	260,000	
II 支出の部			
1) 緊急支援活動費	220,000	0	被災地支援活動
2) 繰越金	20,000	260,000	
支出合計	240,000	260,000	

2021年度の緊急支援活動準備金積立ては、「(株)三留モーター商会」様、「ラーメンあじ平」様、「神奈川土建一般労働組合鎌倉逗子葉山支部」様、「(有)キリタ」様からの協賛をいただいて活動しています。ご厚意に深く感謝申し上げます。

【第2号議案】2022年度活動計画（案）

2021年度活動報告にも記載しましたように、昨年7月に堀内地区において崖崩れが発生しました。下山口や長柄においても出水や土砂の流出が見られました。このような被害は近年ますます増加傾向にあります。また今年に入り東日本でマグニチュード7.4の地震が発生し、政府の地震調査委員会は南海トラフにおける巨大地震の発生予測は10年以内の発生確率は30%程度、40年以内の発生確率は実に85~90%と発表しています。関東地方でも今年に入り震度3程度の地震が頻発しています。こうした中では、ますます防災・減災への取り組みが望まれるのは言うまでもありません。

また、コロナ感染症は依然として終結をみることはなく、当会も過去2年、計画の延期や中止、または開催方法の変更などを強いられ、万全な活動ができない状態が続いています。昨年の活動計画でも述べましたが、コロナが蔓延していても災害は起きるのであれば、感染拡大防止に留意した備えを準備する事が、我々の「やるべき事」であり、「やるべき事」の中から「できる事」を着実に増やしていく事は変わりありません。

本年度の活動計画は、基本重点事項を引き続き堅持していく中で、感染症対策を行いつつ、時代の変化に対応しながら、今まで以上に視野を広げた活動を目指していく年度としたいと思います。

<基本重点事項>

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。
2. 災害VCの仕組み造りを推進する。
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る。
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める。
5. 被災地支援活動を継続して行う。
6. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる。

<具体的活動内容>

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。

- ① 感染症対策ガイドラインに沿った災害VC設置運営訓練を行う。
- ② 他団体が行う訓練・研修に積極的に参加し、多様な方法を学ぶ。
- ③ 災害VC運営に関するICTの導入を学び、学習・活用ワークショップの開催を行う。

2. 災害VCの仕組み造りを推進する

- ① 災害VC設置運営訓練を行い、その成果をもとにマニュアル・様式を検証し、改善する。
- ② 災害VC閉鎖後のニーズ対応について社協と話し合い、方針を定める。
- ③ 災害VC運営の新しい動きを学び、中間支援組織との関係構築を目指す。
- ④ ポータルサイトの運営と充実に努める。

3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る

- ① 「災害VC連携会議」に参加し社協・行政・町内の他団体との連携を図る。
- ② 「三浦半島地区地域災害ボランティアネットワーク交流会」(葉山・逗子・横須賀・金沢区・三浦市)に参加し広域連携に向けて関係を強化する。
- ③ KSVN(神奈川災害ボランティアネットワーク)に理事を派遣し、情報共有、各種訓練に参加する。

- ④ 町内災害ボランティア関係団体、防災関係団体との関係強化を図る。
- ⑤ 町内諸団体とニーズ対応での連携可能性について話し合う。
- ⑥ 「ビッグレスキューかながわ(令和4年度神奈川県・葉山町合同総合防災訓練)」が開催された折は、積極的に参加し協力する。
- ⑦ 「はやま町歩き」「語り場」を適宜行う。

4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める

- ① Facebook、インスタグラムなどのSNS上の情報発信を継続・強化する
- ② 町内で行われるイベントなどに参加し広報活動を行う。
- ③ 会員相互の親睦を図る。リアル・リモートなど状況に応じて判断する。
- ④ 「社協便り」や「町広報紙」などにHSV Nの活動(訓練告知など)掲載を依頼する。

5. 被災地支援活動を継続して行う

- ① 大規模災害時の緊急支援活動を行えるように準備する。
- ② 「緊急支援活動準備金」の積み立てを続ける。

6. 防災教育の取組みを発展させる

- ① 「てんでんこ逗葉」の防災キャンプ、防災ピクニックに対する支援を継続して行う。
- ② 会員と会員以外を対象とする防災・減災に関する勉強会を行う。また他団体などから要望があれば、資料の提供や講師の派遣などを行う。

以上

令和4年度

ボランティア活動保険

補償金額(保険金額)・保険料(1名あたり)



新設 特定感染症重点プラン

新規加入の場合、従来の補償プランでは補償開始日から10日以内に発病した特定感染症については補償の対象となりませんが、補償開始日から補償の対象となるプランです。

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		補償プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】 特定感染症重点プラン	
ケガの 補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
賠償責任の 補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*4月1日付で前年度から継続して契約された場合は初日から補償します。

●基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」へのご加入をおすすめします。

※被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

◆補償期間(保険期間)の途中で加入される場合も上記の保険料となります。

◆中途脱退による保険料の返金はありません。

◆中途でボランティア(メンバー)の入替や加入プランの変更はできません。

◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

【第3号議案】2022年度予算(案)

一般会計の部

2022年4月1日～2023年3月31日

科目	2021年度 予算(¥)	2022年度 予算(¥)	摘要
I 収入の部			
1) 会費	47,000	49,000	49名
2) 助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費			
4) 寄付金	5,000	10,000	
5) 繰越金	27,801	54,174	前年度より繰越し
6) 預金利息			
収入合計	179,801	213,174	
II 支出の部			
1 事業費			
1) 訓練研修 準備・実施費	20,000	20,000	訓練・研修に係る諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	8,000	3,000	葉書、切手、郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費		10,000	講師謝礼
4) 訓練研修 参加・移動費		5,000	他団体訓練参加移動費など
5) 連携プロジェクト関係費	5,000	3,000	広域連携などに係る費用
6) 災害支援活動派遣関係費	10,000		
7) 防災教育活動関係費	15,000	15,000	てんでんこ逗葉、勉強会費用など
8) 広報PR活動関係費	2,000	3,000	広報活動に係る費用
9) 地域活動関係費	8,000	3,000	町内連携に係る費用
事業費計	68,000	62,000	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協
2) 保険料	2,000	2,000	イベント保険
管理費計	15,000	15,000	
3 事務費			
1) 会議費	25,000	35,000	ZOOM利用会費など
2) 交通費	2,000	1,000	交通費
3) 通信費	8,000	5,000	葉書、切手、郵送代など
4) 消耗品費	3,000	1,000	印刷用紙、事務用品など
5) 機材購入費	20,000	30,000	機材ボックス等
6) 雑費	3,000	5,000	諸雑費
事務費計	61,000	77,000	
4 緊急支援活動準備金積立て	20,000	20,000	
繰越し抜き支出合計	164,000	174,000	
5 繰越金	15,801	39,174	
支出合計	179,801	213,174	

緊急支援活動準備金積立ての部

I 収入の部			
1) 一般会計より積立て	20,000	20,000	2022年度一般会計より繰入
2) 繰越金	220,000	260,000	前年度繰越金
収入合計	240,000	280,000	
II 支出の部			
1) 緊急支援活動費	220,000	280,000	被災地支援活動
2) 繰越金	20,000	0	
支出合計	240,000	280,000	

過去の被災地支援活動の経費例

2012年秋のボラバス(東松島)	33名	※635,800円	大型バス(44人乗り)チャーター
2012年春のボラバス(女川ほか)	42名	※579,441円	大型バス(44人乗り)チャーター
2013年春のボラバス(研修ツアー)	39名	732,193円	大型バス(44人乗り)チャーター
西伊豆町水害被害緊急支援活動	4名	16,513円	乗用車1台
緊急支援活動@鹿沼	11名	139,984円	乗用車2台、トラック1台
台風19号相模原ボラバス	19名	※100,667円	小型バスチャーター、トラック1台

※は赤い羽根共同募金会から一部助成を受けている。金額は助成前の経費全額

【第4号議案】役員選出(案)

葉山災害ボランティアネットワーク規約第8条(5)に定める幹事として、新たに下記2名を選出します。

○選出する幹事名(順不同・敬称略)

雨宮 正治 (あまみや まさはる)

狩野 友伸 (かりの ともものぶ)

新任幹事を迎え、2022年度の役員体制は以下の通りとなります。(敬称略)

役職	氏名	
代表	柿本 秀二	
副代表	矢嶋 恵子	
副代表	西山 利廣	
副代表	吉田 見岳	
会計	小峰 梅男	
幹事	岡村 恭子	
幹事	窪田 美樹	
幹事	千葉 綾	
幹事	中村 和雄	
幹事	増田 佳恵	
幹事	松平 克己	
幹事	関 志歩	
幹事	雨宮 正治	新任
幹事	狩野 友伸	新任
会計監査	松元 美恵	
会計監査	吉田 健太郎	
顧問	丸 恭輔	

以上



葉山災害ボランティアネットワーク (HSVN)
ホームページ <https://chiiki-bosai.jp/hp/hsvn>
フェイスブック <https://www.facebook.com/hsvn77>
メールアドレス hsvn77@yahoo.co.jp



-添付資料-

<表> ICT学習・活用ワークショップ 等各種訓練参加状況

訓練名	訓練日	当会からの参加人数
かながわ災害情報連絡会「オンラインICT講座」	7月3日	1名、他にスタッフとして1名
	8月14日	1名、他にスタッフとして1名
	8月21日	1名、他にスタッフとして1名
	9月11日	1名、他にスタッフとして1名
	10月23日	1名、他にスタッフとして1名
	12月11日	1名、他にスタッフとして1名
	1月18日	1名、他にスタッフとして1名
	2月5日	1名、他にスタッフとして1名
	2月26日	2名、他にスタッフとして1名
	3月19日	1名、他にスタッフとして1名
KSVN・ICT勉強会「DITSによる災害状況伝達」	9月12日	1名、他にスタッフとして1名
KSVN・ICTセミナー	10月4日	1名、他にスタッフとして1名
	10月18日	3名、他にスタッフとして1名
	11月1日	3名、他にスタッフとして1名
	11月17日	3名、他にスタッフとして1名
	12月6日	3名、他にスタッフとして1名
	12月13日	2名、他にスタッフとして1名
	1月17日	1名、他にスタッフとして1名
JVOAD「災害対策基本法を学び、よりよい連携を考える」勉強会	7月30日	2名
全社協セミナー「被災地に寄り添うボランティアセンター運営」	11月22日	4名、社協1名
災害時の連携を考える みんななフォーラム	1月12日	3名
震災対策技術展とKSVN「災ボラ体験訓練」	2月3日	2名、他にスタッフとして1名
長野県災害時支援ネット「第4回災害時の連携を考える長野フォーラム」	2月15日	2名
四者(神奈川県、県社協、県共募、KSVN)協定に基づく県災害救援ボランティアセンター設置運営訓練、葉山社協も参加	3月17日	スタッフとして1名